

あいち農産物生産流通レポート

平成 2 1 年 7 月号

情報サロン		
・「食品適正表示の日」を制定しました	(食育推進課).....	1
地域トピックス		
・お米からスイーツ 長久手町米粉レシピコンクール	(尾張農林水産事務所).....	2
東日本情報		
・農林水産知的財産保護コンソーシアム設立	(東京事務所).....	3
西日本情報		
・学校給食地場農産物利用拡大事業について	(食育推進課).....	5
フラワーページ		
・「葬儀力」	(東京事務所).....	7
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		8
・名古屋・東京市場における青果物の7月の見通し		9
花 き		
・切花・鉢花の7月の見通し(県内市場)		2 1
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2009年4月)		2 5
関連指数		2 6

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

「食品適正表示の日」を制定しました

食品表示は適正ですか？

食品の表示は、消費者が商品を選択するための大切な情報源です。

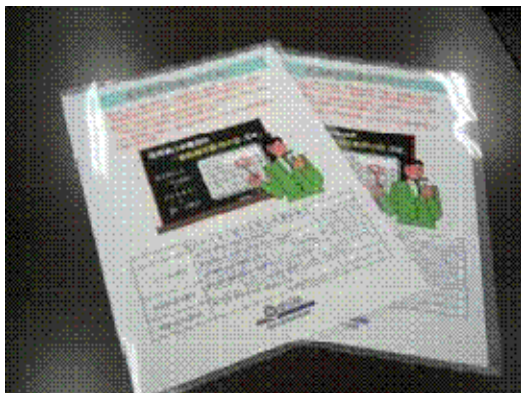
愛知県では、小売店舗等を巡回して表示状況を点検する遵守状況調査や研修会等を実施して、食品表示の適正化に取り組んでいますが、産地偽装などの不適正事例が後を絶たず、食品表示に対する消費者の信頼が揺らぎかねない状況となっています。

このため、今年度から新たに毎月第1木曜日を「食品適正表示の日」を定め、食品表示に関する点検・啓発を更に強化することとしました。

6月4日に「食品適正表示の日」がスタート

初日の6月4日（木）には、食育推進課及び各農林水産事務所農政課の担当者が、県内の食品小売店舗を巡回し、いわゆるJAS法により生鮮食品に表示が義務づけられている、名称や原産地などの項目が適正に表示されているか点検するとともに、店舗の担当者に啓発資材を手渡して、表示のチェックに万全を期すよう要請しました。

この模様は、新聞やテレビで数多く報じられ、大きな啓発効果を発揮するとともに、消費者の食品表示に対する関心の高さをあらためて裏付ける結果となりました。



作成した啓発資材（クリアファイル）



スーパーで担当者に万全なチェックを要請

第1木曜日（いちもく）は、『一目（いちもく）瞭然』！

さて、この「食品適正表示の日」。「適正表示は一目（いちもく）瞭然」という合い言葉との語呂合わせで毎月第1木曜日（いちもく）と定めたものです。

県では、7月以降も、第1木曜日には集中的に店舗巡回を実施し、毎月1度は表示内容を再点検するよう、事業者呼びかけていくこととしています。



お米からスイーツ 長久手町米粉レシピコンクール

～ 全国から 240 点の応募がありました ～

水田農業構造改革対策に取り組む尾張農林水産事務所では、調整水田等の不作付地の解消と米の生産調整を実効あるものにするため、飼料・米粉用水稲の作付を推進している。米を地域資源と位置づけている長久手町では町内でとれた米粉を使ったパンを直売所あぐりん村で提供している。

今年、食料自給率の向上という流れから米粉に着目し、新しいレシピ開発を通じて、その需要拡大と、水田の維持・保全を図ることを目的に長久手町米粉レシピコンクール(主催;長久手町、JA あいち尾東、(株)長久手温泉)が企画された。米粉を主な材料とするオリジナルの料理、パン・スイーツのレシピを2月から募集し、6月13日に長久手町福祉の家ござらっせで表彰式があった。



5月27日の審査では、全国から応募のあった240点のレシピをもとに作品を再現、試食し優秀作品を選定した。長久手米粉レシピ大賞は、米粉を牛乳に溶かした冷たいデザート「米粉のブラマンジェ」(埼玉県、(有)新しい村 森の市場・結)が受賞、米でデザートを作るという発想が評価された。愛知県知事賞はネーミングがおもしろい「冷めても う米(まい)! たこ焼き」(豊田市在住の学生、佐俣美妃さん)が選ばれ、審査員からは学校給食で出せば子どもたちの人気メニューになるとのコメントがあった。



受賞作品の試食には長い列ができ、気に入ったスイーツの作り方を会場に置かれたレシピ看板を携帯写真に撮る来場者が目立った。今後の、米粉スイーツ・料理の普及、米の消費拡大が期待される。

農林水産知的財産保護コンソーシアム設立

平成 21 年 6 月 19 日、我が国の農林水産物や食品における知的財産面での保護強化を目的とした、「農林水産知的財産保護コンソーシアム」が設立されましたので、その概要をご紹介します。

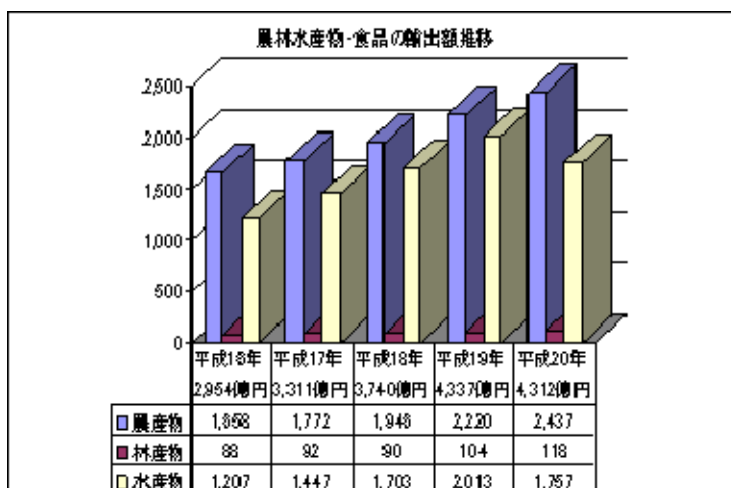
コンソーシアム = 事業共同体

1 現状

近年、日本産農林水産物等への評価が高まり、「日本ブランド」の海外展開に取り組む産地が増えている。国も、農林水産物等の輸出額を平成 25 年までに 1 兆円規模を目指しており、平成 20 年の農林水産物全体の輸出額では 4,312 億円と前年比 0.6% であるものの、農産物については、2,437 億円（前年比 +9.8%、対 H16 比 +47%）と順調に伸びている。輸出先も 7 割がアジア地域への輸出となっている。

特に、中国、香港、台湾における日本産の評価は「見た目が良い、品質がよい、高級感がある」が上位を占め、「日本ブランド」の強さが現れている。

一方、「日本ブランド」が海外で認識され、輸出が増加するに伴い、中国などの「漢字圏」で、日本の地名等が各国で商標登録出願（模倣）され、国内産地の海外事業展開に悪影響を及ぼす事例が起こってきた。



農林水産省会議資料から作成

2 実例

「青森」、「鹿児島」、「静岡」、「松阪（マーク入り）」などが中国の企業や個人が出願申請。「讃岐・さぬき・SANUKI」が台湾企業により既に出願登録済みで、現在無効審判を申請中。

3 問題点

商標登録はいわゆる“早い者勝ち”となるので、例えば、各国で既に登録された商標名を付して販売すると、その権利者から警告・提訴される可能性がある。

今までは、このような問題が起こると、それぞれの自治体や業界団体が対応（異議申

し立てなど)するしかなく、言葉や慣習、専門知識など多大な労力を必要とすることから、国が旗振り役となって商標監視や現地調査などの情報収集、相談窓口となるコンソーシアムを立ち上げた訳です。

4 コンソーシアムについて

このコンソーシアムは、農林水産省が民間会社に事業を委託し、愛知県を含む55の地方公共団体や法人、個人が会員となって、次の事業を行います。

中国、台湾における商標出願状況の一元的監視活動の実施。

「日本ブランド」の農林水産物・食品に係る模倣品、産地偽装等の海外現地調査の実施

海外における知的財産問題に係る国内相談会の開催

上記の出願状況監視活動についての費用は利害関係団体の分担となりますが、相談窓口として利用することは無料で行うことができ、関係情報の提供も受けることができます。

では、有料となる一元適監視活動とはどのようなものかということ、「ウォッチング調査」と「スクリーニング調査」に分かれます。

「ウォッチング」とは、特定の文字等(類似も含む)の出願状況を監視し、公告時に異議をかけるための調査で、「スクリーニング」とは、特定の文字等が既に出願登録されているかの調査です。

この際、いずれも「類似性」には、単に漢字やマークが似ていることだけではなく、「発音」が似ているものや、商品や役務の分類(国際条約で45分類に区分)など専門知識が必要となってきます。

各地方自治体や事業団体でこれらの調査を行うことが非常に困難であることは、既に商標問題で影響を受けた自治体の報告で明らかになっています。

先日、某新聞記事では、日本の地域名だけではなく、芸能人やスポーツ選手の個人名まで商標登録されていることが報道されました。

せっかく国内で認知されている「ブランド」が、海外で先取り(模倣)され、輸出すると「本物」が「偽物」となってしまうのです。

以前参加した別の知的財産に関する講演会では、「知的財産を活用(保護を含む)するためには費用がかかる。どう対応するかは、その地域(個人)のビジョン次第。費用面から、「何もしない」という選択肢もあるので、費用対効果をしっかりと考えて取り組んで行くことが重要である。」との話しもありました。

「しっかりと考える」際の一つの指標となるコンソーシアムが設立されたので、「あとの祭り」とならないよう、活用していただきたいと思います。

学校給食地場農産物利用拡大事業について

このたび、農林水産省では、学校給食への地場農畜産物の利用拡大に対して原材料費にまで助成する新規事業を追加経済対策に盛り込み、5月29日に国会で成立した補正予算で「学校給食地場農産物利用拡大事業」として事業化しました。

ここでは、全国で約5000億円の食材需要があると言われる学校給食における、地場農産物の利用拡大の動きについてご紹介します。

1 背景

学校給食の地場農産物の利用については、国は平成22年度までに利用割合（食材ベース。都道府県平均）を30%以上とするとの目標¹を定めており、本県も同年度までに利用割合を35%以上にすることを目標²とし、取り組みを進めています。

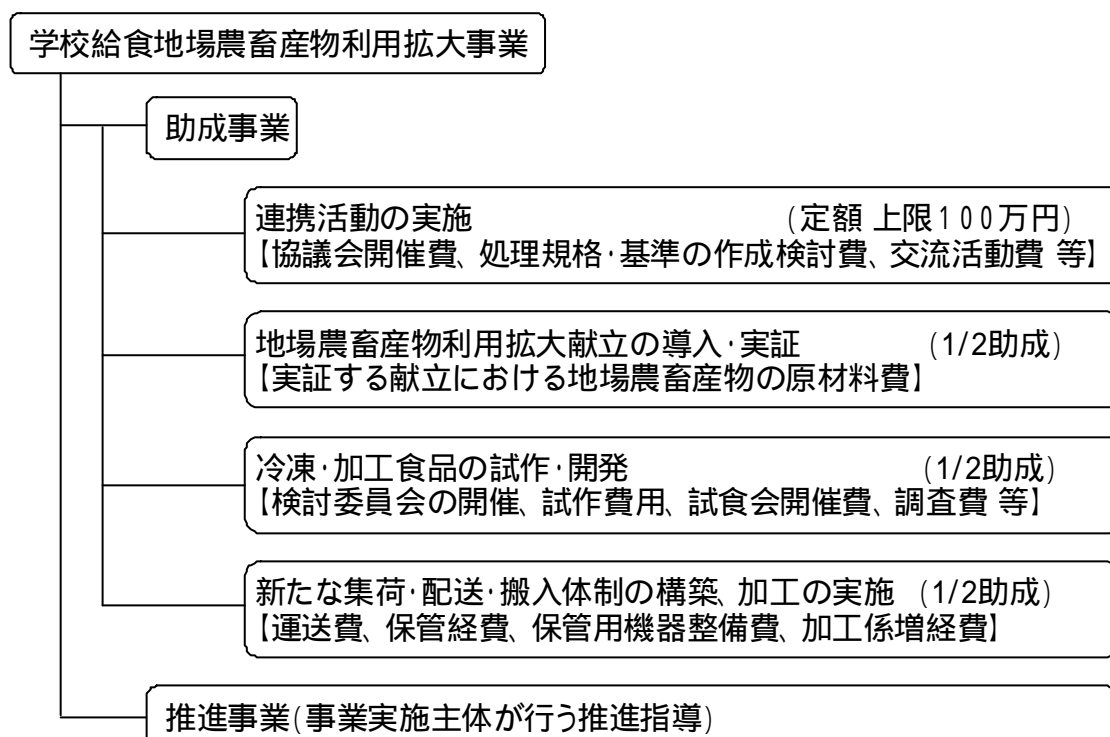
一方、「当日調理が原則」などの特殊性がある学校給食向けの供給体制の確立がされていないことから、平成19年度地場農産物の利用割合は全国平均で23.3%（本県22.8% 文部科学省調査）にとどまっています。

しかし昨年6月の学校給食法の改正で、学校給食で地場農産物の活用に努めることが明記され、食育上の教育的配慮から利用の拡大が謳われています。

2 事業の概要

平成21年から22年までの2年間に、地場農畜産物³の利用を一定割合以上増やす計画を立てた地域に対して、利用を拡大した献立の開発経費や原材料費、集荷・配送経費や生産者と学校給食関係者との連携活動などに助成する。

3 助成の内容



4 事業の対象

事業実施者には、

J A、市町村（学校設置者）が構成員となっている協議会
市町村又は民間団体（J A等農業団体、加工業者、学校設置者等と共同で実施）
で、市町村のうち一部の学校や学校給食センター単位でも、地場農産物の利用を拡大、
定着させるための以下の計画を策定すれば、事業実施者となることができる。

- ・学校給食における地場農産物の利用割合を平成 20 年度と比べて平成 22 年度までに 5 ポイント以上拡大させる計画

5 今後の予定

事業実施は平成 21 年度及び平成 22 年度に限られ、

平成 21 年度の事業実施者からの計画の協議は 21 年 8 月下旬に実施予定で、承認があり次第、事業が開始されます。

6 生産者にとってのメリット

学校給食における地場農産物の利用を拡大することは、生産者側にとっても以下のような様々なメリットがあります。

出荷先として、最初から決めて出荷する場合、包装資材や手間が省けるほか、地場で供給するので流通コストも節約できる

予め決まった量を販売できるので経営の安定に寄与する

地域の子ども達が食べる食材を供給することでやりがいを持って取り組める

地域住民の地域の農や食への愛着や理解を深めることができる

生産者としてもこの機会をとらえ、地場農産物の供給拡大を進めることが期待されています。

- 1 食育基本法の食育推進基本計画
- 2 あいち食育いきいきプラン「食を通じて豊かな心を育むための目標」
- 3 本事業では、事業実施地域を含む都道府県内で生産された農畜産物のことをいう。

「 葬 儀 力 」

「葬儀力」・・・初めてこの言葉を目にしたとき、正直何のことかわかりませんでした。横浜みなとみらいにあるパシフィコ横浜で平成21年6月25、26日に開催された「フューネラルビジネスフェア2009」（フューネラル=葬祭）のキャッチフレーズが「葬儀力」でした。

葬祭関連企業約100社が参加するこのフェアは今回で13回目を迎え、来場者も2002年開催の第6回時に約5000人だった参加者が回を重ねるごとに増え、昨年の実績は約8000人余（主催者HPより）となっておりニーズの高さが伺えます。参加企業も自動車（ハイブリッド霊柩車）からエコバックメーカー、映像関係まで幅広く、会場内では映画で話題となった“納棺”のデモンストレーションなど数々の催し物が行われていました。

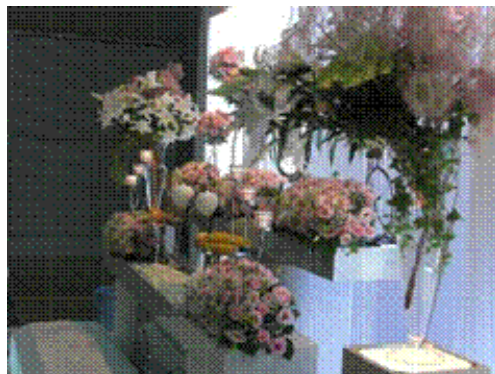


一般的な祭壇



キャンドルを使ったシンプルな祭壇

葬祭業界は拡大産業と言われるなか、「葬儀」の形態は密葬や直葬（火葬のみ）が徐々に増加し、内容も多様化しているそうです。フェアの中でも装飾がシンプルな（花の少ない）祭壇やピンクのバラなどで装飾した祭壇、造花（フェイク）の祭壇（！）など、「多種多様」という言葉がピッタリといった感じです。中にはリース用のフェイクフルーツの盛り籠もありました。フェイク技術も年々精巧になり、安価な葬祭ニーズに対応するのだとか。



赤系の花を使った祭壇

本県は日本一の花き産地で、数ある花の種類の中でも輪菊は主力。その主な用途が仏花です。生花を扱う企業の担当者からは、「葬祭には、輪菊「神馬」だけでなく、「精興の誠」も根強いニーズがある。品質の良いものを安定供給していただきたい。」との話がありました。日本一の産地だからこそ品質にはこだわってより良いものを作り続けていただきたいと思います。

人生最後だけはフェイクでなく「本物」で終わりたいと思うのは私だけでしょうか？

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場（品目：ハウスみかん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円 / kg)		前年の主な他産地 (上位 3 産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
20年実績	540	337 (62%)	855	899	佐賀 (18%) 静岡 (7%) 大分 (7%)
21年見通し	500	300	900	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>地元蒲郡からの入荷が中心。 原油高による加温控えの影響で露地ものや中晩柑種への作付転換がみられ、集荷時期の遅れも予想される。品質は平年並み。 品種は「宮川早生」が中心。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>			<p>単価が高いことから、中元・盆のギフト需要中心。試食宣伝会を実施すれば消費は一時的に増えることから、割高感が日常的な消費の障壁になっている。1パックの数を5~6個から4~5個にするなど、消費者にとって買いやすくする工夫も必要。 出荷の際は、特に浮皮や着色などに注意して選果して欲しい。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：とうがん）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円 / kg)		前年の主な他産地 (上位 3 産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
20年実績	804	297 (37%)	109	137	神奈川 (22%) 静岡 (15%) 岡山 (11%)
21年見通し	830	-	105	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>沖縄産が6月中旬でほぼ終了し、愛知、神奈川、静岡などが出荷の中心となる。 本県産の出荷開始は5月下旬で、本格的な出荷は6月中旬、出荷ピークは7月中下旬の見込み。神奈川の「小トウガン」は昨年より前進出荷しており、6月の入荷量が多い。各産地ともに生育は概ね順調であるが6月中旬以降の天候不順により果実肥大への影響が懸念される。 全体の入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>			<p>業務用途が高い野菜である。今後の需要増加のためには、料理方法の提案などにより一般家庭での消費拡大が必要である。 出荷量が日により大きく増減することのないように安定的な出荷をお願いしたい。 出荷時における若採りと表皮の粗毛除去を励行し、形や色を揃えるなど高品質の保持に努めて欲しい。特に県内の一部産地で玉回し不十分のため果皮が濃緑色に揃わないものがあるので、適切な栽培管理に努めて欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の7月の見通し

名古屋市中央卸売市場

6月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
野菜計	16年	36,086	188	202	177	長野	24%	
	17年	33,119	193	213	188	愛知	13%	
	18年	33,256	208	195	227	北海道	12%	
	19年	32,946	208	210	220	青森	10%	
	20年	34,757	184	203	159			
	5カ年平均	34,033	196	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	21年見通し	32,900	206	-	-			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>葉ものの入荷が増える長野、地元愛知、北海道等からの入荷が中心となる。生育は順調だが、葉物を中心に、産地の切り替わりにより一時入荷量が減る品目もある。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>								
だいこん	16年	2,614	84	96	83	74	青森	50%
	17年	2,259	77	64	104	69	北海道	30%
	18年	2,008	104	85	106	122	岐阜	9%
	19年	2,208	78	64	87	82	群馬	8%
	20年	2,139	64	70	62	59		
	5カ年平均	2,246	81	76	88	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	21年見通し	2,100	75	80	75	70		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>産地は青森の平たん部から北海道に切り替わる。月後半には岐阜の高原もの入荷が始まる。作柄は良好で、入荷は順調であることが予想される。入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>								
にんじん	16年	2,278	117	116	123	113	青森	64%
	17年	1,691	143	113	157	157	北海道	31%
	18年	1,991	191	214	195	170	中国	2%
	19年	1,951	115	120	112	114	愛知	2%
	20年	2,025	113	164	107	74		
	5カ年平均	1,987	135	146	138	124	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	21年見通し	2,000	120	120	120	120		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>月末から青森、北海道からの入荷が始まる。青森は干ばつの影響を受けたがその後回復して作柄は順調。北海道は下旬から8月に入荷開始、ピークは定植後の天候による。生育は順調。入荷量は前年並みで、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>								

東京都中央卸売市場

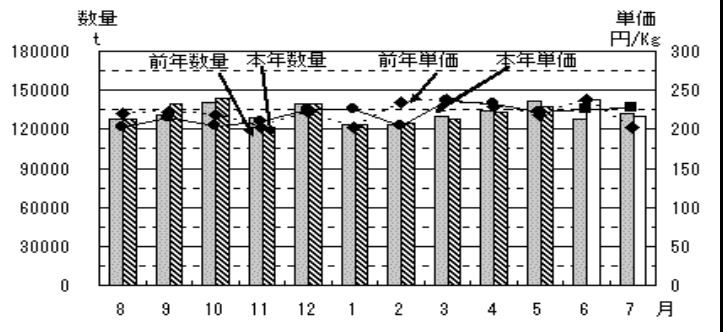
6月23日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	16年	132,277	201	206	208	191	茨城 12%
	17年	125,497	206	194	231	192	群馬 12%
	18年	122,078	231	215	218	260	長野 12%
	19年	123,499	230	206	234	247	青森 9%
	20年	132,422	202	229	199	180	(愛知産比率) 1%
	5カ年平均	127,155	214	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し	130,000	228	-	-	-		

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

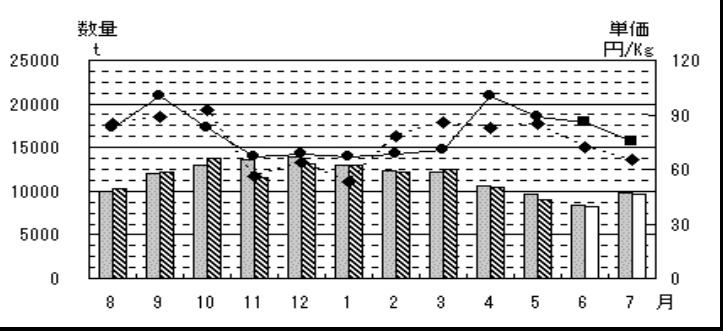
群馬、長野の高冷地と東北産地からの入荷が本格化する時期となる。各品目とも生育は概ね順調だが、5月の低温、6月の天候不順の影響による遅れも見られる。
入荷量は平年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。



だいこん	16年	9,972	83	94	80	77	北海道 50%
	17年	9,058	79	73	96	70	青森 40%
	18年	8,500	101	84	101	117	岩手 4%
	19年	9,415	79	67	89	81	宮城 2%
	20年	9,774	65	72	58	65	(愛知産比率) -%
	5カ年平均	9,344	81	78	84	81	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し	9,700	75	85	85	70		

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

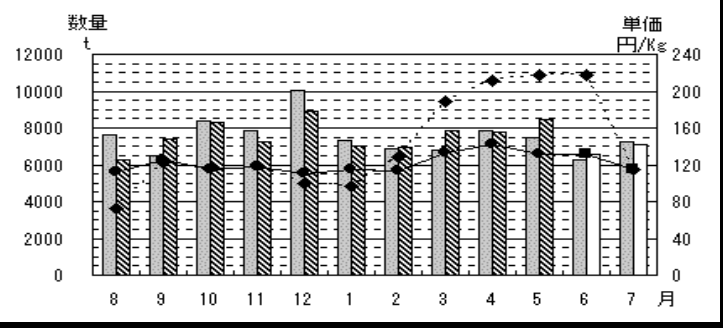
青森に加えて、北海道が本格出荷。北海道は一部産地を除き順調な生育。青森は早出し産地が終盤となり、後続産地では6月に入り低温の影響で生育がやや遅れている。
入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。



にんじん	16年	6,609	113	109	115	115	青森 50%
	17年	5,964	129	101	139	146	千葉 26%
	18年	5,850	193	197	196	185	北海道 26%
	19年	7,300	106	106	101	111	中国 1%
	20年	7,212	115	149	104	87	(愛知産比率) 0%
	5カ年平均	6,587	129	131	128	126	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し	7,100	115	120	110	115		

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

千葉に加えて、青森、北海道からの入荷が増える。青森の生育は6月の低温、日照不足でやや遅れがみ。栽培面積も減少。千葉の生育は概ね順調で肥大良好。北海道の生育は種後の降霜等でやや不良。入荷量は前年並みで、価格は前年並みの見込み。



名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ほうき	16年	2,852	80	71	81	87	長野 99% 北海道 1% 茨城 0%	
	17年	2,337	65	62	68	65		
	18年	2,487	78	72	70	93		
	19年	2,612	73	63	70	85		
	20年	2,234	78	97	69	68		
さい	5カ年平均	2,504	75	72	72	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
い	21年見通し	2,200	75	80	75	70		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/kg
		産地は長野中心。長野以外では作付面積減少。入荷量増える。量販店での販売量が減少する時期で、業務用の需要が中心となる。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。						
キャベツ	16年	3,766	97	113	104	79	群馬 38% 長野 35% 茨城 11% 北海道 9%	
	17年	3,627	65	72	67	56		
	18年	4,070	71	72	62	80		
	19年	3,894	104	92	112	107		
	20年	3,978	71	79	68	68		
さい	5カ年平均	3,867	82	85	82	78	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
ツ	21年見通し	3,900	70	70	70	70		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/kg
		産地は長野、群馬中心。群馬は入荷量の増加が見込まれ、作柄も順調。茨城は雨と低温の影響で入荷時期が1週間ほど遅れる見込み。 入荷量、価格とも前年並みとなる見込み。						
ほうれんそう	16年	294	557	598	553	524	岐阜 83% 北海道 5% 長野 4% 愛知 2%	
	17年	244	683	640	836	590		
	18年	263	652	621	583	788		
	19年	268	695	650	717	719		
	20年	248	583	627	584	533		
さい	5カ年平均	264	632	626	651	630	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
ん	21年見通し	260	650	650	650	650		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/kg
		産地は岐阜を中心に、北海道、長野からごく一部入荷。作付面積は変化なし。需要期ではないので、価格に大きな変化はないと予想される。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	16年	5,502	71	60	68	84	長野 84%
	17年	6,243	46	43	48	48	群馬 9%
	18年	6,265	67	58	59	86	茨城 5%
	19年	6,644	60	50	58	73	北海道 1%
	20年	6,322	60	85	49	49	(愛知産比率) -%
	5ヵ年平均 21年見通し	6,195 6,600	61 60	59 60	56 60	68 60	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野からの入荷が中心となる。長野の作付面積はやや増加したが一部産地で6月に雹害あり。また、一部産地で生理障害が懸念される。群馬の生育は順調で平年並み。茨城も生育は順調である。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					
		<p>ほうきさいの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフで、単価は折線グラフで示されています。数量は8月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～2月にピークを迎え、その後減少傾向にあります。単価は8月～10月にかけて上昇傾向にあり、11月～12月にピークを迎え、その後減少傾向にあります。</p>					
キャベツ	16年	15,260	87	101	90	74	群馬 50%
	17年	15,266	63	73	63	57	岩手 22%
	18年	16,019	65	66	56	72	茨城 7%
	19年	15,284	88	74	96	93	北海道 6%
	20年	15,159	62	65	60	60	(愛知産比率) 0%
	5ヵ年平均 21年見通し	15,398 15,700	73 68	76 70	73 70	71 65	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、岩手からの入荷が中心となる。群馬の生育は概ね順調だが、一部の作型で低温による遅れが見られる。岩手も生育は順調で肥大は良好である。茨城は栽培面積が増え、前年並みの生育。 入荷量は前年をやや上回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
		<p>キャベツの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフで、単価は折線グラフで示されています。数量は8月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～2月にピークを迎え、その後減少傾向にあります。単価は8月～10月にかけて上昇傾向にあり、11月～12月にピークを迎え、その後減少傾向にあります。</p>					
ほうれんそう	16年	1,131	563	536	510	651	栃木 23%
	17年	1,072	628	572	769	543	茨城 21%
	18年	1,068	639	567	535	839	岩手 21%
	19年	1,049	618	543	677	640	群馬 19%
	20年	1,189	482	463	474	513	(愛知産比率) 0%
	5ヵ年平均 21年見通し	1,102 1,200	583 500	535 480	589 520	635 520	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岩手と関東高冷地からの入荷が中心となる。栃木の生育は昨年より前進傾向だが順調。茨城の生育は概ね順調。岩手は寒暖差の大きな天候の影響で生育にバラツキがでたが回復しつつある。群馬も生育良好。入荷量は前年並みで、価格は安かった前年をやや上回る見込み。</p>					
		<p>ほうれんそうの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフで、単価は折線グラフで示されています。数量は8月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～2月にピークを迎え、その後減少傾向にあります。単価は8月～10月にかけて上昇傾向にあり、11月～12月にピークを迎え、その後減少傾向にあります。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	16年	933	330	311	349	332	愛知 37%
	17年	819	378	378	363	393	大分 11%
	18年	806	375	341	370	409	鳥取 8%
	19年	760	440	352	513	473	茨城 7%
	20年	865	375	359	391	376	
ぎ	5カ年平均	837	377	347	394	393	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	850	370	350	370	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は白ねぎが大分、関東産、長ねぎは愛知、北海道など。 売り場は白ねぎが多く、愛知の長ねぎは近年価格低下。北海道、茨城は作付面積の増 加で入荷量の増が見込まれる。 入荷量、価格とも前年並みとなる見込み。</p>					
レ	16年	2,146	135	125	164	121	長野 99%
	17年	2,231	104	92	117	99	北海道 1%
	18年	2,331	125	102	83	199	
	19年	2,209	170	115	153	242	
	20年	2,255	106	118	115	90	
ス	5カ年平均	2,234	128	110	126	151	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	2,200	120	130	120	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は前月に引き続き長野中心。上旬に1度目のピークが到来し、中旬は入荷量の谷間となる。下旬は産地が高地に切替わり、入荷増の予定 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
き	16年	1,949	191	185	241	161	長野 43%
	17年	1,569	260	280	347	171	北海道 22%
	18年	2,316	221	166	233	276	埼玉 12%
	19年	1,434	322	311	338	322	岩手 5%
	20年	1,614	195	236	200	153	
う	5カ年平均	1,776	233	226	266	217	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	1,600	230	250	220	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は長野、北海道、埼玉、岩手で、夏秋ものが中心。生育は良好。 入荷量は前年並みで、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	16年	4,297	224	226	218	茨城 62%	
	17年	4,180	256	288	256	千葉 15%	
	18年	3,886	308	275	323	埼玉 7%	
	19年	4,031	315	277	349	中国 5%	
	20年	4,348	253	292	250	(愛知産比率) 0%	
	5ヵ年平均	4,148	270	271	277	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
21年見通し		4,100	300	300	300		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷が中心となる。茨城の生育は順調であるが、昨年より肥大は悪い。また「べと病」が多発傾向にある。千葉、埼玉の生育も概ね順調であるが、昨年より肥大は悪い。 入荷量は昨年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
しそ	16年	8,717	124	118	146	112	長野 75%
	17年	8,841	89	74	101	90	群馬 16%
	18年	8,794	130	93	82	225	岩手 6%
	19年	8,242	164	107	145	236	茨城 1%
	20年	8,982	100	106	104	92	(愛知産比率) -
	5ヵ年平均	8,715	121	99	115	150	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し		8,500	130	130	130	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野、群馬からの入荷が中心となる。長野の生育は概ね順調であったが、雹害を受けて出荷量は減少する見込み。群馬の生育は日照不足と夕立が多く、肥大の遅れがみられる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
きゅうり	16年	9,085	164	172	204	132	福島 37%
	17年	7,619	233	262	295	155	岩手 16%
	18年	7,035	256	187	216	368	秋田 10%
	19年	7,085	307	336	301	290	茨城 7%
	20年	8,468	168	227	162	126	(愛知産比率) -
	5ヵ年平均	7,858	220	234	232	206	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
21年見通し		8,200	230	270	230	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>福島を始めとする東北産地からの入荷が中心になる。福島の生育は低温の影響はあるものの概ね順調である。岩手、秋田のハウス、露地はいずれも6月の低温で生育が遅れずみ。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

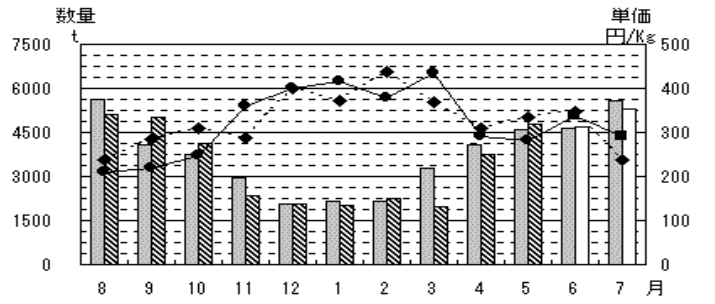
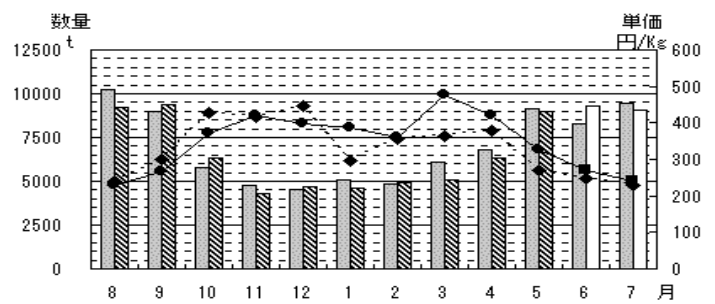
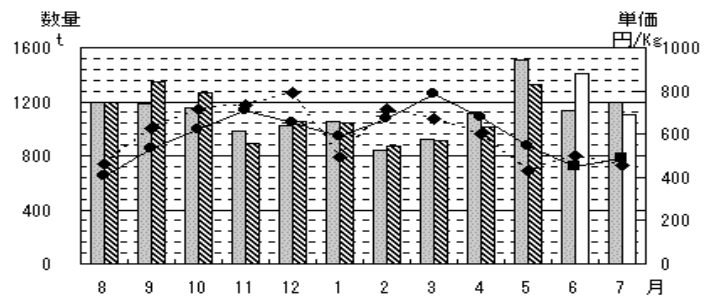
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	16年	1,480	207	175	238	216	愛知 34%
	17年	1,092	258	196	338	240	山梨 16%
	18年	993	316	258	286	427	徳島 14%
	19年	970	335	258	286	427	群馬 7%
	20年	1,119	233	305	228	183	
	5ヵ年平均	1,131	263	233	272	287	
21年見通し	1,000	280	300	280	260	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>先月までの宮崎、熊本に代わり、産地が大幅に変わり、山梨、徳島からの入荷が始まる。品種は夏秋ものが出てくる見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移。数量は8月約1200t、11月約1000t、12月約500t、1月約500t、2月約500t、3月約800t、4月約1000t、5月約1400t、6月約1200t、7月約1100t。単価は8月約250円/kg、11月約350円/kg、12月約300円/kg、1月約300円/kg、2月約350円/kg、3月約350円/kg、4月約350円/kg、5月約350円/kg、6月約350円/kg、7月約350円/kg。</p>					
ト マ ト	16年	1,749	282	283	328	249	岐阜 29%
	17年	1,613	249	191	310	251	北海道 23%
	18年	1,619	267	257	276	268	愛知 22%
	19年	1,465	297	252	315	321	青森 7%
	20年	1,540	232	238	263	204	
	5ヵ年平均	1,597	265	245	299	258	
21年見通し	1,550	250	270	250	230	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は前月に引き続き岐阜、北海道、愛知中心。岐阜、北海道の入荷のピークがいつになるかによるが、入荷量のピークは下旬移行。岐阜の作付面積は減少。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移。数量は8月約2000t、9月約1800t、10月約1000t、11月約900t、12月約900t、1月約900t、2月約900t、3月約1200t、4月約1500t、5月約1800t、6月約1500t、7月約1500t。単価は8月約250円/kg、11月約350円/kg、12月約300円/kg、1月約300円/kg、2月約300円/kg、3月約350円/kg、4月約350円/kg、5月約350円/kg、6月約350円/kg、7月約350円/kg。</p>					
三 二 ト マ ト	16年	298	503	630	525	396	北海道 48%
	17年	260	499	448	514	539	愛知 27%
	18年	261	587	568	570	620	長野 7%
	19年	285	556	533	562	570	
	20年	285	471	495	502	427	
	5ヵ年平均	278	522	537	534	507	
21年見通し	270	530	550	520	500	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は熊本、和歌山が終了、北海道、長野が出てくる。各地の生育は順調で、北海道は入荷が若干早めになる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移。数量は8月約300t、9月約350t、10月約250t、11月約200t、12月約250t、1月約250t、2月約250t、3月約300t、4月約350t、5月約450t、6月約350t、7月約350t。単価は8月約450円/kg、11月約750円/kg、12月約650円/kg、1月約650円/kg、2月約650円/kg、3月約650円/kg、4月約650円/kg、5月約650円/kg、6月約650円/kg、7月約650円/kg。</p>					

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	16年	5,942	178	179	174	180	群馬 26%
	17年	4,518	276	228	375	222	栃木 24%
	18年	4,415	357	315	311	458	茨城 22%
	19年	3,990	362	283	438	380	埼玉 9%
	20年	5,596	239	351	227	163	(愛知産比率) -%
	5ヵ年平均	4,892	272	269	291	267	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	5,300	290	290	290		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地が切り上がり、関東産地が入荷の中心となる。群馬の生育は概ね順調。栃木は栽培面積が減少。定植時の乾燥で生育は遅れたが回復している。茨城の生育は豪雨により草勢が落ちたが回復する見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
							
ト マ ト	16年	9,691	257	268	290	225	青森 18%
	17年	8,295	233	163	338	225	栃木 12%
	18年	8,225	266	245	279	274	福島 10%
	19年	7,818	273	232	299	288	茨城 9%
	20年	9,424	228	257	240	197	(愛知産比率) 3%
	5ヵ年平均	8,691	251	235	288	240	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	9,100	240	250	235	235	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>東北産地の入荷が本格化してくる。青森は曇天、低温及び干ばつにより7日程度の生育遅れ。栃木は半促成・促成作の残り1～2段で小玉。福島の生育は低温、日照不足のため生育が遅れぎみ。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
							
ミ ニ ト マ ト	16年	1,035	478	571	475	407	福島 19%
	17年	973	463	368	502	512	茨城 18%
	18年	994	546	505	560	574	岩手 13%
	19年	1,046	511	478	511	540	青森 11%
	20年	1,200	454	501	492	395	(愛知産比率) 7%
	5ヵ年平均	1,050	489	486	507	482	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	1,100	490	500	500	470	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>福島、岩手の東北産地からの入荷が増えてくる。東北産地の生育は低温、日照不足の影響で遅れている。7月下旬には量的にも出揃う見込み。愛知産の生育は終盤で、平年より着果が良くない。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	16年	643	238	258	268	205	茨城 36%
	17年	563	351	263	434	375	岩手 25%
	18年	489	361	333	369	386	北海道 18%
	19年	460	359	269	364	486	宮崎 9%
	20年	603	290	362	302	213	(愛知産比率 0%)
マン	5カ年平均	552	314	297	343	320	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	560	320	350	320	300	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は岩手、北海道、宮崎の夏秋ものと茨城の促成もの。岩手、北海道の作付面積は前年並み、生育も順調。梅雨により入荷量が不安定になる時期。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。					
ばれいしょ	16年	2,259	85	89	84	83	静岡 29%
	17年	2,323	161	135	181	169	長崎 24%
	18年	2,205	124	120	124	127	青森 17%
	19年	2,038	98	86	98	106	愛知 14%
	20年	1,904	130	147	141	106	(愛知産比率 0%)
いしょ	5カ年平均	2,146	120	115	126	119	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	1,800	140	140	140	140	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は長崎、静岡が中心。後半から青森。北海道からの入荷が本格化するまでは北から南まで各産地まんべんなく入荷が見られる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。					
たまねぎ	16年	3,923	86	87	87	85	兵庫 55%
	17年	3,859	78	76	77	80	愛知 26%
	18年	4,298	79	78	75	83	北海道 11%
	19年	4,379	69	69	71	69	佐賀 6%
	20年	5,384	59	62	64	52	
ねぎ	5カ年平均	4,368	73	74	74	72	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	4,500	78	78	78	78	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		愛知が終盤、晩生型の入荷。兵庫のつり玉は中旬に入荷。兵庫は大玉不足で小玉傾向。他産地も生育は順調。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	16年	2,659	159	158	163	158	茨城 66%
	17年	2,115	324	193	408	387	岩手 22%
	18年	2,183	313	265	314	384	福島 6%
	19年	2,160	336	215	328	518	青森 2%
	20年	2,468	227	239	200	154	(愛知産比率 -%)
マ	5カ年平均	2,317	266	212	275	309	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	2,500	270	250	280	280	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城、岩手からの入荷が中心となる。茨城の生育は順調で品質も良好。終盤であるが切り上がりは遅くなる見込み。岩手の生育は定植時の乾燥で生育が遅れたが降雨により回復してきている。 入荷量は前年並み、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ばいしょ	16年	5,599	92	99	87	90	茨城 23%
	17年	5,246	142	128	147	151	静岡 23%
	18年	5,380	126	118	125	135	長崎 18%
	19年	6,021	86	81	86	93	千葉 17%
	20年	5,254	132	146	133	112	(愛知産比率 -%)
い	5カ年平均	5,500	115	113	114	115	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	5,000	160	170	160	150	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>関東産地からの入荷が中心となる。静岡は生育が前進しており小玉傾向であるが品質は良好。長崎は、高温乾燥で茎葉の傷みが目立ち小玉傾向。千葉の生育は概ね順調である。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	16年	10,777	93	99	89	92	佐賀 45%
	17年	11,047	81	81	81	82	兵庫 21%
	18年	10,114	85	85	82	88	香川 15%
	19年	9,928	77	74	74	83	群馬 5%
	20年	10,122	77	81	78	71	(愛知産比率 2%)
ね	5カ年平均	10,398	83	84	81	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	9,600	98	95	95	100	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>佐賀、兵庫、香川の入荷が中心となる。佐賀は生育後半の天候回復で肥大は順調。兵庫の生育は順調で品質も良好。香川の生育は天候不順の影響で小玉傾向。作付面積は大幅に減少している。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	16年	17,326	325	320	350	313	フィリピン 19%
	17年	16,817	288	291	303	271	愛知 17%
	18年	14,032	324	342	329	303	山梨 8%
	19年	13,215	333	341	339	319	山形 7%
	20年	12,035	347	350	360	334	
	5カ年平均	14,685	321	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	11,800	330	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>すいか、メロン、ももを中心に入荷。中旬はギフト需要から単価上昇。全体として入荷は少なめだが、消費が低迷していることから低価格傾向。入荷量、価格ともに前年をやや下回る見込み。</p>					
ア ー メ ロ ン	16年	451	566	640	582	481	愛知 48%
	17年	417	493	494	521	459	静岡 37%
	18年	357	600	700	623	487	高知 14%
	19年	331	551	591	539	516	
	20年	309	614	628	625	584	
	5カ年平均	373	561	608	576	501	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	300	600	650	600	550	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は熊本が終了し、愛知、静岡、高地中心。中旬はギフト関連の需要で単価上がるが、下旬は作付面積は減少している。入荷量、価格とも前年をわずかに下回る見込み。</p>					
す い か	16年	3,831	160	138	165	168	愛知 26%
	17年	3,645	118	135	119	109	石川 23%
	18年	3,663	126	155	123	108	長野 16%
	19年	2,966	125	125	115	132	山形 15%
	20年	2,762	172	138	160	204	
	5カ年平均	3,373	139	139	136	142	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	2,700	150	130	150	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、石川を中心に、下旬に長野、山形が出てくる。作付は減少。長野は7月入荷を増やしているが、昨年よりも入荷は8月にシフトする。入荷量のピークは梅雨明け時期次第。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	16年	49,099	324	333	340	304	山梨 17%
	17年	47,179	301	329	320	359	山形 11%
	18年	44,681	330	374	328	296	千葉 11%
	19年	41,488	329	359	345	291	フィリピン 10%
	20年	42,935	342	360	346	323	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	45,076	325	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	44,000	320	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>すいか類、もも、メロン類中心に入荷する。ももは山梨中心に入荷。気温高により生育は前進化傾向。すいかは各産地とも順調に入荷する見込み。中元の需要期となるが消費の冷え込みの影響が懸念される。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
アーメロン	16年	1,032	630	726	590	541	静岡 51%
	17年	977	558	554	558	564	千葉 18%
	18年	912	642	759	600	553	高知 9%
	19年	866	582	620	542	580	熊本 8%
	20年	772	673	624	683	745	(愛知産比率 5%)
	5ヵ年平均	912	615	658	592	590	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	770	650	700	650	650	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡中心に入荷する。昨年重油高騰により作付面積が大幅に減少した静岡の作付面積は横ばい。生育は一部小玉化がみられるものの概ね順調である。千葉の生育も順調で大玉傾向。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回ると見込まれる。</p>					
すいか	16年	8,575	149	155	154	129	千葉 25%
	17年	12,663	118	106	129	138	山形 19%
	18年	11,644	140	129	142	174	新潟 12%
	19年	13,895	127	131	125	125	茨城 9%
	20年	14,224	175	150	168	198	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	12,200	142	133	143	155	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	14,500	160	165	160	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、新潟に加え、後半山形からの入荷が本格化する。千葉の生育は順調で、少なかった前年をかなり上回る入荷が見込まれる。山形も生育は良好で、順調な入荷が見込まれる。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回ると見込まれる。</p>					

切花・鉢花の7月の見通し

切花（地方卸売市場ヤマエ生花市場）

6月24日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	16年	981	52	
		17年	907	46	
		18年	1,099	34	
		19年	1,053	34	
		20年	1,072	33	
	5ヶ年平均	1,022	39		
21年見通し	1,100	35			
概要	<p>愛知、長野を中心に入荷。後半から県内産も夏系品種に移行、「岩の白扇」中心の販売となる。 長野産はやや遅れ気味で推移、入荷は上旬少なめで中旬以降増加する。価格は新盆需要の期待はあるものの入荷が多ければ苦しい展開か。</p>				
小 ぎ	実績	16年	1,261	23	
		17年	1,019	31	
		18年	1,229	20	
		19年	1,075	22	
		20年	1,322	23	
	5ヶ年平均	1,181	24		
21年見通し	1,200	23			
概要	<p>愛知を中心に長野、奈良等から入荷。生育は各産地とも順調に推移している。 前半は奈良、近在ものが中心、県内山間地や長野は後半から増加。価格は新盆需要で前半は堅調な動きも、後半はやや軟調な動きとなる。</p>				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	16年	526	36	
		17年	538	41	
		18年	510	40	
		19年	482	43	
		20年	503	36	
	5ヶ年平均	512	39		
21年見通し	510	37			
概要	<p>長野、北海道等から入荷。各産地とも生育は順調、長野産の一番花は、下旬から7月上旬がピークとなる。価格は新盆需要で前半は堅調、後半は入荷も増量となりやや苦しい展開か。</p>				
か す み	実績	16年	74	47	
		17年	102	49	
		18年	83	52	
		19年	84	48	
		20年	76	44	
	5ヶ年平均	84	48		
21年見通し	80	45			
概要	<p>福島、北海道、長野を中心に入荷。暖地物は終盤に向かい、高冷地物に移行する。高冷地物は若干の遅れが見られるが、中旬より増加に転じる。 価格は前半は強めの動きも、後半は弱含みの市況展開か。</p>				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	16年	226	118	
		17年	196	153	
		18年	211	146	
		19年	215	149	
		20年	199	134	
	5ヶ年平均		209	140	
	21年見通し		210	140	
概要	新潟、愛知、高知等から入荷。オリエンタル系は新潟中心の入荷。生育は順調だが、昨冬の積雪が少なく、季咲ものの出荷集中が心配。てっぽう百合は前半は長野、後半は兵庫産の入荷、価格は新盆需要で前半は好調も、後半は苦しい動きと思われる。				
洋らん	実績	16年	253	77	
		17年	263	81	
		18年	252	81	
		19年	263	84	
		20年	259	71	
	5ヶ年平均		258	79	
	21年見通し		255	75	
概要	愛知、宮崎、静岡、徳島等と輸入物が入荷。国内産のカトレア、コショウランは気温上昇とともに入荷は減少。デンファレは後半より徐々に増加するも品薄感に残る。全体的に入荷は少なめの予想。価格は業務需要中心の動きと思われるが、入荷量が少ないことから堅調な取引展開か。				
ばら	実績	16年	377	36	
		17年	388	41	
		18年	346	42	
		19年	298	53	
		20年	347	41	
	5ヶ年平均		351	42	
	21年見通し		350	40	
概要	愛知、岐阜、和歌山、長野等から入荷。暖地ものは改植期となるため徐々に減少し、高冷地産が中心となる。価格は気温上昇とともに日持ちが悪くなるため消費が鈍り、苦しい動きとなろう。				
枝もの	実績	16年	1,074	33	
		17年	1,114	33	
		18年	1,055	37	
		19年	929	38	
		20年	977	36	
	5ヶ年平均		1,030	35	
	21年見通し		1,000	34	
概要	愛知、静岡、岐阜等から入荷。花付ものは終了し、栽培ものや山取りものが中心の入荷となる。7月は新盆ではおづきの入荷も若干ある。価格は稽古需要の減少により栽培ものは苦しい展開、山取りものは引き合い強く、堅調な動きと思われる。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	実績等					
ファレノプシス	実績	16年	33,667	3,500		
		17年	34,858	2,765		
		18年	26,916	3,465		
		19年	29,279	3,506		
20年		28,731	3,091			
5ヶ年平均		30,690	3,120			
21年見通し		29,000	3,000			
概要	<p>入荷量は昨年並みか。年々、中元需要が減少しているが、6月の株主総会需要で動きが良くなるので、上旬がその流れのままで動いていくことに期待したい。 昨年7月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(65%)、2位静岡・福岡(9%)となっている。</p>					
スパティフィラム	実績	16年	19,976	313		
		17年	22,929	239		
		18年	28,348	237		
		19年	27,120	288		
20年		19,443	249			
5ヶ年平均		23,581	266			
21年見通し		18,000	230			
概要	<p>生産量が減少しているため、入荷量も減少か。中元需要も期待できないため、市況は厳しい動きが予想される。 昨年7月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位三重(60%)、2位愛知(25%)、3位岐阜(15%)となっている。</p>					
バラ(ミニバラ)	実績	16年	6,621	180		
		17年	3,663	96		
		18年	7,042	99		
		19年	4,158	114		
20年		9,282	95			
5ヶ年平均		6,153	117			
21年見通し		8,000	90			
概要	<p>入荷量はやや減少か。市況は厳しい動きが予想される。高温で花終わりも早いので、固めの出荷を望む。 昨年7月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜(38%)、2位山口(33%)、3位三重(20%)となっている。</p>					

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ類	実績	16年	71,125	559	
		17年	75,016	480	
		18年	64,084	576	
		19年	55,894	696	
20年		52,409	572		
	5ヶ年平均	63,076	570		
	21年見通し	52,000	570		
	概要	<p>入荷量は昨年より減少か。入荷は中鉢が中心で、コンシンネの動きが良さそうである。昨年7月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（72%）、2位沖縄（13%）、3位三重（6%）となっている。</p>			
アンズリウム	実績	16年	31,241	907	
		17年	31,333	981	
		18年	31,412	1,139	
		19年	29,918	1,250	
20年		27,060	1,201		
	5ヶ年平均	31,193	1,091		
	21年見通し	26,000	1,100		
	概要	<p>入荷量は前年並みか。7～10号鉢はランの代わりに利用されるようであり、動きは良好か。一方、4～6号鉢は苦戦しそうである。昨年7月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（98%）、2位三重（2%）となっている。</p>			
オンシジウム	実績	16年	5,954	1,275	
		17年	3,946	1,277	
		18年	3,302	1,295	
		19年	4,159	1,314	
20年		3,054	944		
	5ヶ年平均	4,083	1,237		
	21年見通し	2,500	900		
	概要	<p>生産量が減少しているため、入荷量も減少か。市況は昨年同様、厳しい動きが予想される。昨年7月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（51%）、2位長崎（17%）、3位高知（16%）となっている。</p>			

主要農林水産物の輸出入実績 (2009年)

1 輸入実績

品名	4月						4月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	59,604	105.3	5,764,366	99.6	97	94.6	210,922	98	19,947,795	88	95	89.1
トマト	170	149.6	56,457	138.5	332	92.6	517	99	154,407	83	299	84.8
たまねぎ	15,359	101.3	671,689	114.7	44	113.2	55,587	88	2,258,185	99	41	115.2
にんにく	1,884	121.5	145,169	93.3	77	76.8	6,626	106	504,792	80	76	75.3
ねぎ	2,447	121.0	264,748	84.7	108	70.0	9,055	92	798,987	64	88	73.8
ブロッコリー	2,662	91.1	586,886	113.2	220	124.3	7,609	76	1,401,196	83	184	112.7
結球キャベツ	2,288	231.3	91,524	235.6	40	101.8	8,208	350	281,230	281	34	75.9
にんじん・かぶ	5,102	99.3	291,459	69.7	57	70.3	14,425	110	758,411	77	53	74.3
ごぼう	3,640	98.8	155,241	53.7	43	54.4	11,842	79	434,804	48	37	68.3
えんどう	52	65.4	13,904	114.1	270	174.6	383	98	75,228	102	197	99.7
アスパラガス	1,070	106.6	594,150	100.2	555	94.0	5,644	112	2,814,804	99	499	89.7
まつたけ	-	-	-	-	-	-	82	-	470	-	6	-
しいたけ	437	157.1	105,532	170.7	242	108.7	2,125	91	470,680	85	221	93.0
かぼちゃ	19,720	103.5	1,125,021	87.9	57	85.0	71,591	103	4,046,138	78	57	73.2
果実(生鮮・乾燥)	216,798	109.3	24,469,216	98.4	113	90.0	685,636	117	69,848,266	103	102	91.8
バナナ	122,423	127.7	9,776,090	132.2	80	103.6	423,642	137	30,470,408	152	72	120.5
パイナップル	14,662	100.4	975,203	103.4	67	103.0	43,662	90	2,812,220	95	64	108.3
レモン	4,570	88.9	522,851	44.7	114	50.3	15,982	101	1,836,651	51	115	50.5
オレンジ	13,973	103.0	1,408,212	102.8	101	99.7	36,693	105	3,718,395	105	101	100.4
グレープフルーツ	28,967	92.7	3,076,490	102.2	106	110.3	87,796	94	8,959,260	93	102	96.5
メロン	5,460	94.6	597,164	90.0	109	95.1	12,567	89	1,471,885	88	117	95.6
ぶどう	1,638	73.8	219,716	56.0	134	75.9	4,604	113	685,454	80	149	59.8
キウイ	8,544	78.3	2,665,792	86.7	312	110.8	8,601	78	2,680,806	87	312	126.7
いちご	-	-	-	-	-	-	35	123	19,414	80	548	64.1
切花(生鮮・乾燥)	2,823	115.2	2,253,047	109.9	798	95.4	12,236	103	8,984,748	93	734	91.6
鳥獣肉類	136,394	90.0	59,049,422	85.1	433	94.5	531,434	98	232,554,960	93	438	94.6
牛肉(くず肉含む)	39,948	103.3	15,771,475	90.4	395	87.6	150,749	109	56,674,139	87	376	79.0
豚肉(くず肉含む)	62,402	85.7	32,722,830	85.5	524	99.9	245,128	95	128,375,912	95	524	99.5
鶏肉	24,726	75.8	5,702,162	68.3	231	90.2	104,821	88	31,282,602	103	298	116.7
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	165,014	92.8	92,782,545	90.2	562	97.3	567,793	91	302,080,293	84	532	91.7
まぐろ類	21,296	99.6	22,981,038	114.4	1,079	114.8	75,660	93	76,147,696	79	1,006	79.2
さば・さんま・あじ・いわし	7,674	169.8	1,224,730	186.9	160	110.1	52,061	112	9,305,149	105	179	91.7

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	2,271	215.4	585,649	172.2	258	79.9	10,072	77	2,573,842	63	256	82.4
うんしゅうみかん	4	54.5	6,246	87.7	1,434	160.9	100	62	62,023	90	618	153.1
りんご	2,254	242.3	554,855	230.1	246	95.0	9,794	78	2,301,173	63	235	80.3
なし	-	-	-	-	-	-	12	22	6,238	22	525	98.5
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	230,470	102.1	-	-	-	-	888,944	78	-	-
緑茶	187	143.6	312,596	113.5	1,667	79.1	611	135	1,039,183	111	1,700	82.7

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成17年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	19年平均	100.3	103.1	109.3	102.7	103.1
	20年12月	101.3	105.8	100.7	106.8	106.0
	21年 1月	100.7	109.0	104.6	106.9	106.5
	2月	100.4	101.7	100.4	106.7	105.3
	3月	100.7	103.7	97.4	106.9	105.3
	4月	100.8	110.3	89.3	106.2	105.5
愛 知 県	19年平均	100.5	100.3	111.1	100.7	103.5
	20年12月	101.8	101.4	98.0	104.9	104.7
	21年 1月	101.3	104.1	103.5	104.7	103.8
	2月	100.8	94.6	100.8	103.6	101.2
	3月	101.3	97.2	97.3	102.6	104.5
	4月	101.7	103.4	90.1	101.4	104.0

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	19年平均	97.6	95.0	100.6	110.1	99.5
	20年12月	101.3	97.4	110.2	120.5	99.5
	21年 1月	98.9	98.6	110.0	99.1	95.2
	2月	96.5	98.6	101.3	103.2	96.3
	3月	103.7	98.4	122.2	84.8	96.0
	4月	97.4	98.7	108.1	76.7	97.6

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシ加」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
19年平均	2,229	147	153	589	440	269	137	295	203	530	629	206	535
20年12月	2,208	186	132	578	545	259	137	279	184	664	699	201	428
21年 1月	2,208	188	136	613	626	266	119	273	190	642	628	226	409
2月	2,215	167	127	519	426	271	118	270	185	604	599	215	395
3月	2,243	152	169	511	471	276	123	271	194	666	699	190	410
4月	2,243	209	261	503	426	354	164	303	207	432	674	189	442
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
19年平均	689	356	509	165	258	705	602	163	170	315	221	776	506
20年12月	468	364	413	173	260	669	615	162	174	351	229	828	472
21年 1月	554	346	389	150	256	669	610	162	166	335	228	791	485
2月	592	338	405	148	259	650	599	158	161	328	225	785	465
3月	606	318	345	143	253	608	607	164	168	336	223	754	473
4月	-	306	338	122	266	605	611	158	166	326	223	732	461

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 433
平成21年7月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417